

しぜんはくぶつえん
自然博物館 通信

No.016

国営滝野すずらん丘陵公園 滝野管理センター発行

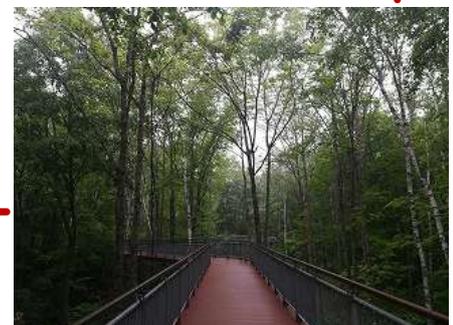
今月のトピック：雨の森の楽しみ方

今年の5月は記録的な暑さとなり、とても天気のいい日が続きました。おかげで滝野の森にもたくさんの方が来て頂き、シラネアオイをはじめとする春の野の花たちを楽しんでいただくことができました。6月に入ると森も葉っぱが増えて薄暗くなり、暗い森で咲くランやイチヤクソウの花たちが楽しめるようになります。そんな6月ですが、自然博物館が開園した10年前と比べると雨の日が増えたような気がします。森にとって雨は必要不可欠ですが、人にとっては少し迷惑ですよね。ただそんな雨の日の森も実は見方を変えると楽しめるんです。わかりやすいのは雨の日だから見られるものを探すこと。滝野の森では毎年6月から8月にかけて「雨の日の生きもの探し」というイベントを開催しています。雨が降った日だけ開催。濡れた森を元気に動き回るカタツムリやカエルたちを見つけて写真に撮ってスタッフに見せてください。見つけやすいのはしましま模様が特徴のサッポロマイマイやフキなどの葉っぱにひっついてるオカモノアラガイなどです。カエルやカタツムリ以外にも雨宿りしてる昆虫や少し迷惑そうに見える生きものなどでもOKです。雨の森は少し霧がかかったような幻想的な雰囲気なので雨具を持って散策してみてください！



森のオススメスポット「森の観察デッキ」

自然博物館の1番のオススメは高さ5メートルの目線で森を歩ける「森の観察デッキ」です。高さ5メートルと言えば鳥が飛ぶ高さで、実際目の前を鳥が飛んだり、目線の高さでアカゲラが木を突いているのを見ることがあります。また地面を歩いていると目にすることはない枝の先の様子を観察したり、蛇行する野牛沢川を上から眺めたりするのもお勧めです。その中でもいつもガイドツアーでご案内しているのがデッキの真ん中付近で見られるツルアジサイ。名前の通りツルで他の木にしがみついて登っていきます。花の開花は6月下旬。ツルアジサイの花を目の前見られるのは滝野の森でもここだけです！



今月の森の様子

◆今月見られる野草

ノビネチドリ、サイハイラン、コケイラン、マムシグサ、クルマバツクバネソウ、イチヤクソウ、コイチヤクソウ、ベニバナイチヤクソウ、ジンヨウイチヤクソウ、ジガバチソウ、ササバギンラン、ギンラン、オオハナウド、ホオノキ、チシマアザミ、シウリザクラ、フタリシズカなど。

◆今月見られるいきものたち

カナヘビ、アオダイショウ、ジムグリ、シマヘビ、エゾアカガエル（幼生）、エゾサンショウウオ（幼生）、サッポロマイマイ、オカモノアラガイ、シオカラトンボ、モイワサナエ、ニホンカワトンボ、ミヤマカラスアゲハ



サイハイラン



ササバギンラン



ツルアジサイ

【今月のオススメプログラム】

◆6/2（日）～26（水）までの水・日 森のガイドツアー ※6/16 は SP ツアー

10:30～12:00／13:00～14:30 参加費：無料 定員：20名

◆6/16（日）スペシャルガイドツアー「ランの花を見に行こう！」

1日かけて森を歩いて野生ランやイチヤクソウなどをご案内します！

10:00～14:30 参加費：無料 定員：20名 昼食持参

【お申込み】滝野管理センター:011-594-2222

滝野の森の情報については「滝野の森メールマガジン」や「滝野の森 staff twitter」でも更新中です。

★滝野の森メールマガジン：「滝野の森メールマガジン」で検索。

★滝野の森 staff twitter：<https://twitter.com/takinonomori>

滝野の森ゾーン西エリア 自然^{しぜんはくぶつえん}博物館 とは・・・

国営滝野すずらん丘陵公園の中にあるエリアの1つ。2010年OPEN。テーマは「北国の人と自然の共生」開拓や入植の歴史を持つ場所にできた森で、シラネアオイを始めとした400種以上の山野草や樹木、野鳥、昆虫などを観察できるほか、田んぼを使った体験プログラムや沢あそびなどもでき、自然をより身近に感じることができるエリア。拠点は森の情報館。最寄りの駐車場は「滝野の森口」

【利用案内】

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 TEL：011-592-3333 グリーンシーズン開園期間：4/20～11/10

滝野公園 HP：<http://www.takinopark.com/>